

国際

こだいら



2009年
No.57

Kodaira International Friendship Association News



2009年2月8日(日)

小平市民駅伝大会

寒風吹きすさぶ中、KIFAより男女2チームが出場して、
駅伝大会がスタートしました。新疆ウイグル自治区出身のアフマッティ・ニヤズさんが
力強いフォームで走り抜けました。



新年交流会

1月17日(土)午後6時から午後7時半まで、ルネこだいらレセプションホールで、新年交流会が開かれました。

この日、外はあいにくの天候でしたが、『Welcome to KIFA PARTY!!…英語はここまでです。…』と副理事長のユーモアのある切り出しで会場に心地よい笑い声が広がり、市議会議長の小林さんの挨拶・乾杯の後、テーブルの料理や飲み物を片手におしゃべりを楽しみました。そして恒例の一つになりつつある、ZiziさんとKIYOMIさん率いるオリエンタルビーナスによるベリーダンスで、会場に華やかさが加わりました。親しみのある踊りや音楽を聴いてウズベキスタンから来た青年は、『踊りが懐かしくて嬉しい。日本に来て(ベリーダンスが見られた事に)びっくりです。』と嬉しそうに話してくれました。

イベントの一部が終わり、少し落ち着きをとり戻した舞台上、もう一つの恒例…凛とした着物の華が並びました。そして、『着物を着るのは本当にいい感じ。こんな機会があるのは嬉しいです!』『すごいです!一度着てみたかったです。着物がきれいで嬉しいです。』などの感想と、『足が大きいから、いたい。それを我慢しなきゃ。』『歩くのが大変。』『行動が不便です。』など、“着物を着こなす大変さ”も皆さん素直に話してくれました。あと



会場で、着付けやヘアセットのボランティアの皆さんの手際の良さにとっても驚いたという話も聞きました。

次に、2月8日(日)に行われる市民駅伝大会へのKIFAからの出場メンバー4人が舞台に呼ばれ、皆さん意気込みを一言ずつ話してくれました。その中で、『毎日走っています。出来ればシルクロードまで走って行きたいです!』と元気に話していたのは、会場で私に『何か自分の出来ることで、お手伝いをしたいです。』と話してくれたアフマッティさんでした。是非、4人の皆さんで力を合わせて頑張ってください。

最後に再びベリーダンスで盛り上がり、参加者もダンサーの皆さんに手を引かれ一緒に舞台へ。この日、日本に来たばかりのアフマッティさんの娘さんも、大人顔負けの素晴らしい踊りをみせてくれました。

楽しい時間はあっという間におひらきとなりました。いろいろな国から来た皆さんにとって、この短い一瞬が日本で小平市での素敵な思い出の一つになりますように。また皆さんの素敵な笑顔に会えますように。

平成21年度は 次のような事業を行います

I 国際理解及び国際親善の普及事業

国際こどもクラブ(2期2クラス)、日本語会話教室、英会話教室(レベル別クラス、シニア英会話)、外国語会話教室、国際交流芸術展

II 地域における友好交流事業

国際交流フェスティバル、国際交流パーティ、ホームビジット、バスハイク、ひな祭り等

III 地域や日本文化並びに外国都市や外国文化の紹介事業

世界の料理紹介、世界の文化紹介、外国人のための華道入門

IV 国際交流情報の収集及び地域への提供事業

機関紙(年3回)・情報紙(年10回)の発行、情報提供コーナーの運営、電子情報の発信

V その他協会目的達成のために必要な事業

ボランティア活動の推進、新年交流会、協会PR活動等の推進

平成21年度収支予算(平成21年4月1日から平成22年3月31日まで)

○収入の部		(単位:千円)
科目	予算額	
賛助会費収入	1,380	
補助金収入(市補助金等)	14,134	
寄附金収入	1	
積立金繰入	1,800	
事業収入	6,520	
雑収入(預金利息等)	6	
前年度繰越金	1,609	
収入合計	25,450	
○支出の部		
科目	予算額	
事業費	10,426	
国際理解及び国際親善の普及事業	5,754	
地域における友好交流事業	1,418	
地域や日本文化並びに外国都市や外国文化の紹介事業	573	
国際交流情報の収集及び地域への提供事業	2,150	
その他協会目的達成事業	531	
管理費(管理運営費)	14,523	
積立金	1	
予備費	500	
支出合計	25,450	

世界の料理

3月4日(水)、中央公民館実習室で、本場のタイ料理を教えてくださいました。講師は久米川と所沢で「サワディー」というタイ料理店を営んでいる染谷ノグヌットさん。タイ人以上にタイに精通しておられるご主人もご一緒でした。プームのエスニック料理のためか、はたまたタイへの関心の高さゆえか、男性2人を含む34人もの大勢の参加がありました。本日のメニューはトントロ豚のレッドカレー、海老さつま揚げ、緑豆デザート。てきばきと作り方を説明されるノグヌットさんと、その傍らで補足されるご主人の名サポートで和気あいあいと料理は進みます。お二人はお店の味を包み隠さず、おいしく作るコツを詳しく教えて下さいます。一つご披露すると、ココナッツミルクをカレーペーストに加える時は数回に分けること!いちどきに入れてしまうとカレーの色が悪くなるし、ココナッツの香りが薄れるそうです。「なるほど!」の声が多く飛び出しました。ノグヌットさんは各班にくまなく目を配り、さっとアドバイスしたり質問に答えたり。タイのカレーは辛いのでは?と思ったのですが、試食してみるとそれほど辛くはなく、甘みも感じられました。「意外に砂糖を沢山使うのね。」という感想が聞かれました。デザートも甘めなのですが、辛い料理をいろいろ食べた後にはこの甘さが

タイ料理



格別おいしく感じられるのだとか。

試食後は次々と料理のこと、タイのことについて質問が出ました。そのひとつひとつに丁寧に答える実直なノグヌットさんとご主人なので、タイがぐんと身近に感じられました。タイを訪れた日本人の多くがその魅力にはまってしまおうとよく聞きますが(ご主人もそのお一人でしょうか?)、ノグヌットさんのようなタイの人々の温かい人柄が一番の理由なのかも・・・と、旅した人の気持ちが少し理解できたひとときでした。



1/24

国際交流パーティー 餅つき



「みなさん、杵と臼で餅をつくのを実際に見た事がありますか?」1月24日(土)に一橋大学国際学生宿舎留学生寮との共催で大学国際交流プラザにて餅つきパーティーが行われました。

時折、小雪の舞い散る中、戸ベッタン、ベッタンと外国人やボランティアの人達が忙しそうにお餅つきに励んでいました。つきたて餅は熱いうちに丸めて、あんこ、大根おろし、きなこにからめます。手伝いの学生達は天手古舞いです。聞くと、15臼30kgのおもち、時間内につくのは大変!汗をかきながら慣れた人は力強く、初めての方は不器用に、女性や子供はヨロヨロと頑張っています。取材に来た私は見物するだけで、余りの寒さに熱いお茶を飲みながら、お餅をほおばっているのです。参加していた外国人は「餅つきは日本のいい伝統だ。おいしいし、ついて作るのは楽しい」と言って慣れないお餅をのどにつまらせないように食べていました。大根おろしは苦手な人も多い様でした。

一方、暖かいプラザの中では甘酒をふるまったり、色々

な国の言語で書く事の出来る書道体験など正月らしい趣向も参加者の興味をひいていました。

この日は、空からの風花(かざはな)という調味料も加わったお餅を食べられ、風情ある日本の行事となりました。とても寒い戸外での催しでしたが、不思議と心あたまる留学生と市民の楽しい交流になりました。



インタビュー スウェーデン

スウェーデンからの留学生のリーサ・パーイエルヴィさんにお話を伺いました。

◎ご出身は？

北極圏から1キロ北にあるシェッカスイェルヴィです。全部で8軒の家族が住む20人の村です。冬の寒い時は零下30°になり、雪は2メートル積もることも。夏至祭の時は一番明るく、太陽は沈まない。外でみんな食事をして、ダンスをして朝まで起きています。

◎小さい頃はどんなことをして遊びましたか？

冬は雪の中で遊んだり、夏は森へ行ったり、湖で泳ぎました。外に出られない日は、家で本を読むことが多かったです。

◎お母さんに本を読んでもらったの？

はい。でも小さい頃から本が好き。いつのまにか、自然にひとりで読めるようになった。

◎日本では『長くつ下のピッピ』で有名なアストリッド・リンドグレンの本は？

たくさん読みました。『ミオよ、わたしのミオ』はすごく好きだった。

『山賊の娘ローニャ』は、何回も何回も読んだ。これは私が生まれた年の本。

◎児童文学者エルサ・ベスコフの本は？

絵本がすごく可愛い！
一番好きなのは森の中の小さい子どもとキノコのお話。
(注：『森の小人たち』)

◎はじめて来日した時と第一印象について？

高校卒業後に観光で。



町の看板が全然読めなくて、初めて違う文字の文化に触れて不思議でした！

◎その後は？

日本語が面白かったので、イエーテボリ大学で日本語を学びました。

話せるようになるまでは、すごく時間がかかり大変でした。(現在は、流暢な日本語を話すリーサさんです。)

◎日本で楽しかったことは？

いっぱいある！沖縄の海がすごくきれいだった。はじめてのスキューバダイビング。ハリセンボンを手でこんなふうを持って、すごく可愛かった。

◎お料理はしますか？

ベジタリアンなので、豆腐を入れた野菜餃子を作ってみたら美味しかった。

◎春休みの予定は？

二月末にカナダのバンクーバーで、「ブリリアント・ハーモニー合唱団」の公演があります。

◎いつから参加しているの？

日本に来た2008年4月頃から。入団後、歌が上手になった気がする。合唱団はすごく楽しいので、ずっと続けたい！

◎今後の希望は？

旅行をしたい。
それから、日本で仕事をみつきたい！

ひな祭りの集い

すでに春の日ざしの2月28日(土)。ちよっぴり早めの“ひな祭りの集い”が、KIFAで行われました。会場に入ると、華やかに着付けをした外国の女性達の姿が目をつけます。小林正則小平市長のお話があり、その後の歓談時間では、市長と一緒に写真撮影をする方々と、雛人形を前に撮影する方々でいっぱいでした。でも、女性がきれいなお人形が大好きなのは万国共通！



雛人形の方が少～し人気があった様な気がします。

それから、お琴の演奏に日本舞踊、みんなでひな祭りの歌

を歌ったり、折り紙をしたり、楽しい時間を過ごしました。特に、外国の小さな女の子が着物を着ている姿は微笑ましく見えました。私達が桃の花を見ると子供の頃のひな祭りを思い出す様に、いつか彼女が大人になった時にも日本のひな祭りを思い出してほしいですね。

編集後記

先日、ポカポカ陽気の中、取材した記事をウトウトしながらまとめていた時の事です。つけっ放しのTVから、アナウンサーの「小平」という言葉で画面を見ると小学校の体育館で遊んでいる子供達が映っていました。放課後支援がしっかりしていると取り上げ称賛されていました。小平はボランティアの数が多いそうです。そこで私は考えました。“どこでもいいからTV局様、KIFAにも取材に来て下さいませ。一同、おいしいお茶とスマイルでお待ちしております”——なんて、夢か現か、幸せ気分浸っていたのでした。(深)